

第90回宇宙理学委員会 議事録

日時： 2025年2月13日（木）9:30～11:30

場所： ハイブリッド開催（2階会議場および ZOOM）

出席者：

委員： 関（委員長）、篠原（副委員長）、阿部、河原、福家（以上幹事）、生駒、和泉、
今田、榎戸、大竹、笠羽、住、関本、田中、玉川、寺田、鳥海、松浦、山口、山崎、
横山、渡辺（伸）、渡邊（誠）

説明者： 中澤（名大）

宇宙研： 國中所長、西田理事補佐、佐藤 PD、吉田研究総主幹

オブザーバ： 山崎（典）宇宙物理学研究系研究主幹、齋藤太陽系科学研究系主幹、
船木宇宙工学 GDI

事務局他： 上田主任、石崎、奈良岡主任、東方主査、根本

配布資料：

資料 0	第 90 回_宇宙理学委員会議事次第 a
資料 2-1	第 89 回宇宙理学委員会議事録
資料 2-2	理学 AI 表
資料 4	WG 見守り担当について
資料 5	RG 活動経費申請書案
資料 6	JEDICronos_WG_close
資料 7	理学 AI 表_確認資料
資料 8-1	rg_application_JEDICronos_v3
資料 8-2	FutureX-rayObs_RG_v3
資料 9-1	宇宙理学メンバ登録について
資料 9-2	宇宙理学メンバ退会について

議事

1. 所長挨拶

先週にかけてヨーロッパに出張。SOLAR-C, Lite Bird 等の案件。CNES は MMX のサンプルに興味あり。その他について詳しくは理工合同委員会にて説明する。

2. 前回議事録および A/I 確認（審議） 《資料 2-1、2-2》

前回議事録はメール回覧済み。委員会においてコメントは無く確定となった

3. WG 設立審査状況について (報告) <資料なし>

横山評価委員長から報告がなされた

- 1) BHEX WG (次世代ミリ波スペース VLBI 衛星 Black Hole Explorer の日本貢献) について設立審査中
 - 2) PRIMA WG は設立時申請から活動内容を変更する旨の連絡あり。戦略的開発研究費申請時の取り扱い含め、確認したい
- Q) 取り扱い方針を決める前に変更についての更に詳しい情報が必要
- A) 日本側の人員体制が十分ではないこと、日本側技術的貢献の範囲を変更することが関係している
- ・戦略的経費執行開始 (年度当初に開始したいもの) のタイミング、アメリカ側との関係等の情報を盛り込んだ申請書を明日締切の戦略的開発経費申請に提出してもらう
 - ・WG 側から理学委員会に対して活動内容の変更を説明する文書、新たな事業実施計画書を提出してもらって、理学委員会が確認する (A/I)

4. PRIMA 見守り担当について (審議) <資料4>

篠原副委員長から資料に基づき説明がなされ、認められた

所内担当: 和泉究 (宇宙物理学研究系)

所外担当: 井上昭雄 (早稲田大学)

今後は見守り担当に WG チームと宇宙研執行部との打ち合わせに参加してもらう

5. RG 予算申請について(報告) <資料5>

篠原副委員長から資料に基づき説明がなされた

コメント: 活動経費上限は 150 万円/年度、と書くのが良い ⇒資料を修正 (2/13 済)

Q) 戦略経費はこのための予算をどの程度考えておけば良いか

A) 戦略経費予算からは 900 万円を割り当てていただきたい

6. JEDI 終了報告 (報告) <資料6>

山口宇宙物理 GDI 長から資料に基づき報告がなされた

7. 理学委員会 A/I について <資料7>

- ・ GDI が評価すべき所掌⇒ 理工学委員会で報告する
 - ・ ポスト SLIM の戦略⇒ 長期検討テーマであり引き続き検討
 - ・ 搭載機器基礎開発経費改革案⇒ 次期委員会に申し送り
 - ・ 中型・小型計画を取り巻く状況⇒ 学会やコミュニティ会合で周知。海外機関とも共有 [CLOSE]
 - ・ 理学メンバ資格要件⇒ 資料 7-2 の通り
- 理学委員会委員に関しては依頼に先立って資料に記載された情報を確認することがある

コメント： 理学委員会メンバになる条件の「宇宙科学の研究者……」は「日本の宇宙科学の研究者……」とするべきではないか (A/I 吉田総主幹、事務局)

- ・ PRIMA, GREX-PLUS コミュニティ拡大方針⇒ GDI が所掌するとして[CLOSE]
- ・ PO 室との連携⇒ PO 室から前回情報提供有り。次期へ申し送る
コメント： 重要な問題なので今後理学委員会で議論する場を設けて欲しい

8. 新規 RG の設置について (審議) <資料 8>

中澤さん (提案代表者、名大) が資料に基づき説明

Q) 世界の流れとして X 線天文学において 2030 年代はどのような流れが想定されているのか?

A) 流動的な面もあるが、XRISM の次を担うミッションは必要。広い帯域のプロープが必要。角分解能を追求する広い視野でサーベイするミッションも必要。この潮流の中で国際連携でこれらの軸を実践していくことが大事。日本としては MIDEX に参加する道もある、XRISM の分光サイエンスを広げる道もある。このようなことを議論していきたい。

Q) JEDI との関係は? もっと広い可能性を考えるのか?

A) JEDI で良い検討が行われたのでこれは引き継いでいく。さらに他の RG と連携もしていく

Q) 海外ミッションはダウンセレクションを控えており、どの程度のタイムラインで絞り込みを行うのか

A) 中型、小型、国際協力の枠組みを見極めながら、海外ダウンセレクションを見極めながら、柔軟性をもち、サイエンスを第一に考えて進めていきたい

RG の活動内容として妥当なことを確認したので承認

9. 宇宙理学メンバ申請 (審議)、退会 (報告) について

新規メンバ 5 名を承認

1 名の退会を了承

10. その他

- ・ 宇宙科学シンポジウム

Q) 宇宙科学シンポジウムの開催時期は

A) 近く周知を行う

- ・ A/I 確認が行われた